

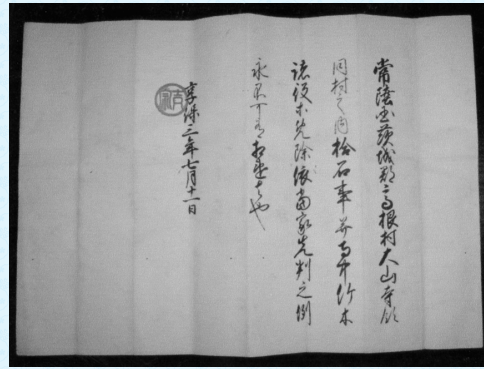
町指定文化財書跡「吉宗公御朱印状」

ごしゅいんじょう

指定年月日／昭和五五年二月三日

所在地／城里町高根

管理・所有者／大山寺



常陸国茨城郡高根村大山寺領
同村之内拾石事并寺中竹木
諸役等免除依当先判之例
永不可有相違者也

享保三年七月十一日
吉宗

高根山大山寺(真言宗)の町指定文化財「吉宗公御朱印状」は、江戸幕府八代將軍徳川吉宗が、大山寺に対し十分の領地や諸税の免除を保証した公文書です。縦四六センチメートル、横六六センチメートルの厚手の和紙に右下のように記され、吉宗の朱印が押されています。このような朱印状を、「領地朱印状」といいます。一〇万石未満の武家や寺社等の所領を確定させる際に用いられ、將軍の代替わりごとに発給されました。

町指定文化財「吉宗公御朱印状」

問合せ

教育委員会事務局

☎029-1288-13135

は、なぜか横浜市の旧家に永く眠っていました。五〇年ほど前に発見され、その後所蔵者のご厚意により大山寺に返還されました。昭和五四年一月一日には、朱印状の帰山式が盛大に催されました。朱印状を所蔵する大山寺は、弘法大師開創と伝える古刹で、「虫封じ高根山」としても広く信仰されています。戦国時代には、歴代の大山城主から崇敬されました。解説文／町文化財保護審議会会長小山映一

城里町誕生10周年記念事業

作文コンクール(小学校低学年の部)

最優秀受賞作品

「明るいう町」

城里町立沢山小学校

3年 小松崎 美空

わたしは、しろ里町をゆうな名な町にしたいです。

「桂びな」や「レッドポアロー」など、少しゆうな名な物はあるけれど、もつともつとしろ里町をゆうな名にして、町が元気になれるといいなと思います。そのために三つのことを考えました。

一つ目は、野さいをいっぱい作って、新せんな野さいを全国に広めたいです。

わたしは、二年生でナス作りを、三年生でトマト作りのべん強をしました。わたしは、野さいが大好きです。毎日やさいをのこさずに食べています。

しろ里町には、山と川そして広い田んぼや畑があります。おいしいお米やきせつの野さいがたくさんできます。わたしの、ひいおばあちゃんやおばあちゃん、おじいちゃんや作るトマトやキュウリ、かぼちゃ、レタス、玉ねぎ、じゃがいも：みんなみんなおいしいです。だから、このしろ里町でできるおいしい野さいをみんなで食べ

てもらって、食べる人も作る人も元気になつてもらいたいです。

二つ目は、町を花や緑でいっぱいにしたいです。花はいいにおいだし、きれいな色がたくさんなので、花がいっぱいさいしていると心が明るくなります。

学校や家でさいている花よりも、もつともつとたくさん花を町にさかせたいです。花のしゅるいも、たくさんさかせて、しろ里町にしかない、すてきな花をさかせたいです。

緑がたくさんしろ里町が、わたしは大好きです。

もう一つ、遊園地ができたらいなと思います。友だちと下校中に、「ここに遊園地ができたらいいな。」と話したことがあります。話しているだけでおねがワクワクしました。もちろん緑と花いっぱい遊園地です。大きなスタジイの木がたつていてたくさん人が集まる所にしたいです。そこにフクロウがとんできて、「ホーホー」とみんなを見てくれるやさしい遊園地がいいです。

元気で明るい、みんながニコニコえ顔の町で、わたしも楽しい毎日です。

今回は、作文コンクール小学校高学年の部最優秀受賞作品をご紹介します。